

エコアクション21 環境活動報告書

第19号（2024年度版）



2025年6月30日作成

株式会社 河西金属商事

1. 組織の概要

(1) 事業者名及び代表者名

- ・事業所名 株式会社河西金属商事
- ・代表者名 代表取締役社長 河西 秀浩

(2) 事業所の所在地

- ・本社 〒409-3866 山梨県中巨摩郡昭和町西条485(登記簿上の本社)
- ・南工場 〒409-3853 山梨県中巨摩郡昭和町築地新居803
- ・団地工場 〒409-3853 山梨県中巨摩郡昭和町築地新居1669-10
- ・釜無工場 〒409-3853 山梨県中巨摩郡昭和町築地新居743-1
- ・北工場 〒409-3853 山梨県中巨摩郡昭和町築地新居702
- ・東工場 〒409-3853 山梨県中巨摩郡昭和町築地新居707-1

(3) 環境管理責任者及び連絡先

- 環境管理責任者 川口 和代子
E-mail h-kasai@cyber.ocn.ne.jp
連絡先 TEL 055-275-3312
FAX 055-275-6654

(4) 事業内容

- ・金属スクラップの集荷加工及び処理
- ・鉄鋼 鉄材の売買
- ・自動車重機等の廃車処理及び分解整備
- ・貴金属類の売買
- ・中古機械及び中古部品道具類の売買
- ・産業廃棄物の収集運搬及び中間処理
- ・建家構造物機械装置類の解体処理
- ・一般廃棄物の収集運搬及び中間処理

(5) 法人設立年月日 昭和44年10月3日

(6) 資本金 1,000万円

(7) 敷地面積 25,100m²

(8) 床面積 3,890m²

(9) (2024年度)売上高区分B:5億円以上10億円未満

(10)従業員内訳

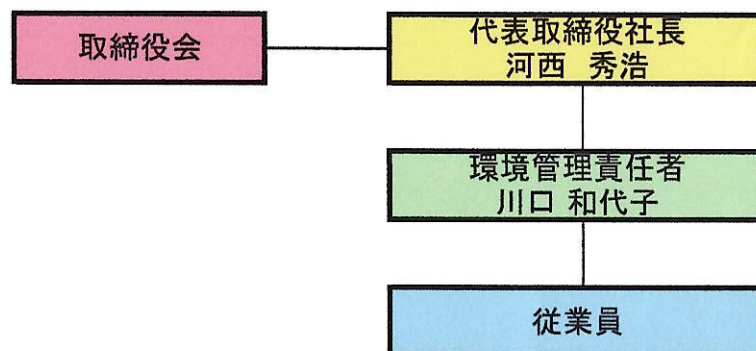
(2025年3月末)

役職等	人数(名)
代表取締役 会長	1
代表取締役 社長	1
取締役	1
事務員	5
作業員	24
合計	32

(11)主要な設備

設備の名称	性能	台数	事業所
圧縮切断機(金属スクラップ)	250馬力	1	団地工場
圧縮機(金属スクラップ,使用済自動車)	150馬力	1	南工場
飲料缶選別機		1	南工場
圧縮梱包機(廃プラスチック類等廃棄物)	50馬力	1	釜無工場
圧縮梱包機(古紙,ペットボトル)	100馬力	1	東工場
計量器	60t	1	南工場
計量器	60t	1	団地工場
フォークリフト	2.5t	12	
重機	0.25~1.2m3	15	
トラック	4~15t	15	

(12)組織図



(13)廃棄物等に関連する許可の内容

許可・登録事項	許可・登録番号	許可・取得年月日	許可・登録有効期限
産業廃棄物収集運搬業	山梨県01911024105号	平成3年3月18日	令和8年3月17日
	長野県2009024105	平成22年10月20日	令和7年10月19日
産業廃棄物処分業	山梨県01921024105号	平成6年10月3日	令和11年10月2日
廃棄物再生業者登録	山梨県第15号	平成11年9月16日	-
一般廃棄物処理施設設置	山梨県4-15号	平成18年3月31日	-
	山梨県4-29号	平成23年12月5日	-
一般廃棄物収集運搬業	昭環経指令第30-13号	令和1年7月1日	令和11年6月30日
	中央市指令第30-24号	平成31年1月7日	令和9年1月6日
一般廃棄物処分業	昭環経指令第1-32号	令和1年7月1日	令和9年6月30日
第一種フロン類回収業者	山梨県第1023号	平成14年3月20日	令和9年3月19日
使用済自動車引取業者	山梨県20191000020	平成14年6月21日	令和9年6月20日
使用済自動車解体業者	山梨県20193000020	平成16年7月1日	令和11年6月30日
フロン類回収業	山梨県20192000020	平成14年6月21日	令和9年6月20日
解体工事業	山梨県第10140号	平成29年8月14日	令和9年8月13日
計量証明事業登録	山梨県第1号	昭和62年10月24日	-
	山梨県第32号	昭和63年8月12日	-
古物商登録	山梨県公安委員会63-74	平成16年3月31日	-

2. 対象範囲

1. 認証登録範囲

株式会社河西金属商事

南工場 : 山梨県中巨摩郡昭和町築地新居803

団地工場 : 山梨県中巨摩郡昭和町築地新居1669-10

釜無工場 : 山梨県中巨摩郡昭和町築地新居743-1

北工場 : 山梨県中巨摩郡昭和町築地新居702

東工場 : 山梨県中巨摩郡昭和町築地新居707-1

2. レポートの対象期間及び発行日

①環境活動レポート第19号の対象期間

2024年4月～2025年3月(2024年度)

②発行日

2025年6月30日

3. 環境方針

環境経営方針

- 1 事業活動において、環境目的・目標を定め環境負荷を低減し、環境汚染物質の予防に努めるとともに、定期的な見直しを行い、環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
- 2 環境関連の法規制・条例・当社が同意したその他の要求事項を遵守し、環境の保全に努めます。
- 3 産業廃棄物・使用済みの自動車等の受入に関わる全てにおいて、エネルギーや資源を有効に活用し、廃棄物の発生を極力抑え適正な管理を行います。
- 4 地域社会や関係諸官庁とのコミュニケーションをはかり、協調を大切に、環境保全活動を通じて地域社会に貢献します。
- 5 当社はこの方針を全構成員及び関連事業者に周知すると共に、社外へも公表します。

上記方針の確実な履行を誓約する。

2021年3月1日

株式会社河西金属商事
代表取締役社長

河西 秀浩

4. 環境目標

環境目標[2023年度～2025年度]

制定年月日 2023年4月1日

0

制定者 代表取締役社長 河西秀浩

項目		取組項目	単位	基準	目標値			主な目標達成手段
				2022年度 (出荷量15,330t)	2023年度 99.5%	2024年度 99.0%	2025年度 98.5%	
1	二酸化炭素排出 量削減(省エネ)	(二酸化炭素排出量)	kg-CO ₂	546,660	543,927	541,194	538,460	
		〃 1t あたり		35.66	35.48	35.30	35.12	
		①電力使用量削減	kwh	349,148	347,402	345,657	343,911	・節電
		〃 1t あたり		22.78	22.66	22.55	22.43	
		②灯油使用量削減	L	34,347	34,175	34,004	33,832	・電気への転換等
		〃 1t あたり		2.24	2.23	2.22	2.21	
		③ガソリン使用量削減	L	24,939	24,814	24,690	24,565	・エコドライブ標準活用
		〃 1t あたり		1.63	1.62	1.61	1.60	
		④軽油使用量削減	L	96,629	96,146	95,663	95,180	
〃 1t あたり	6.30	6.27		6.24	6.21			
2	省資源	⑤再資源化率アップ	%	90.7	90.7	90.7	90.7	・リサイクル市場開発
	総排水量削減	⑥水使用量削減	m ³	412	410	408	406	・節水・漏水点検
		〃 1t あたり		0.0269	0.0267	0.0266	0.0265	
主要な環境取組事項		⑦事故トラブル件数削減		事故・トラブル件数「0」				—
		⑧敷地内の油漏れ対策		計画点検等の完全実施				—

(注)エネルギー関係及び水使用量は、基準より毎年0.5%削減する。

東京電力エナジーパートナーの二酸化炭素排出係数:調整後排出係数0.441kg-CO₂/kwh:令和1年度実績(R5.1.24公表)

削減目標については、1t あたりの原単位を並行して使用することとした。

5. 環境活動計画

(1) 2024年度の環境活動計画とその取組み実施状況

項 目	細 目	環境活動計画	取組実施状況
二酸化炭素排出	電力使用量削減	①省エネ基準の遵守	①不要箇所消灯、不使用時のOA機器電源OFF等を確実に実施
	灯油使用量削減	①アイドリングストップの励行	①アイドリングストップに重機操作者全員が取組む
	ガソリン使用量削減	①エコドライブ標準遵守	①エコドライブ標準に運転者全員が取組む
	軽油使用量削減	①エコドライブ標準遵守	(同上)
廃棄物排出量	リサイクル率維持向上	①リサイクル可能品の受託	①不況により発生量減少 (リサイクル可能な廃棄物は100%実施)
総排水量	水使用量削減	①節水の励行 ②水漏れ点検	①節水表示等 ②検針時の異常使用水量チェック
主要な環境取組事項	事故クレーム件数削減	①標準作業書遵守 ②定期点検の実施	①標準作業書遵守 ②定期点検実施率:100%
	敷地内の油漏れ対策	①標準作業書遵守 ②定期点検の実施	①標準作業書遵守 ②定期点検実施率:100%
	グリーン購入	①環境ラベル認定製品の購入 (コピー用紙・トイレトペーパー等)	①購入率100%

(2) その他の取組み

①省エネ・省資源等の取組み

環境効率の追求を行い、最終製品におけるリサイクルの環境負荷低減に値するような対応を考えています。

②安全管理者の役割

災害リスクの高い廃棄物の中間処理業にとっては、職場の安全管理を徹底させ、無災害の職場づくりを行うことは、環境保全上も極めて重要であると認識しています。

③地域の美化活動の実施

工場隣接道路の空き缶、その他のゴミ拾いを定期的に行うとともに、社長、環境管理責任者等が毎日、工場周辺を巡視し、安全や美化に努めています。

6. 環境目標の実績

(2024年4月～2025年3月)

項 目	細 目	単位	目 標	実 績	達成率
二酸化炭素排出量削減 (省エネ)	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	541,194	508,156	107%
	1t あたり		35.30	32.56	108%
	電力使用量削減	kwh	345,657	397,430	87%
	1t あたり		22.55	25.47	89%
	灯油使用量削減	L	34,004	34,712	98%
	1t あたり		2.22	2.22	100%
	ガソリン使用量削減	L	24,690	21,024	117%
	1t あたり		1.61	1.35	119%
	軽油使用量削減	L	95,663	76,620	125%
	1t あたり		6.24	4.91	127%
省資源	リサイクル率維持向上	%	90.73	90.76	100%
総排水量削減	水使用量削減	m ³	408	199	205%
	1t あたり		0.0267	0.0217	123%
主要な環境取組み事項	事故クレーム件数削減	—	事故・クレーム件数「0」	「0」	100%
	敷地内の油漏れ対策	—	計画点検等の完全実施	実施	100%
	グリーン購入	—	環境ラベル認定製品の購入	コピー用紙・トイレトペーパー等	100%

[参考]

※達成率の表記において、100%以上は目標を達成、100%未満は未達成を示す。

※削減目標については、出荷量1tあたりの原単位を並行して使用。

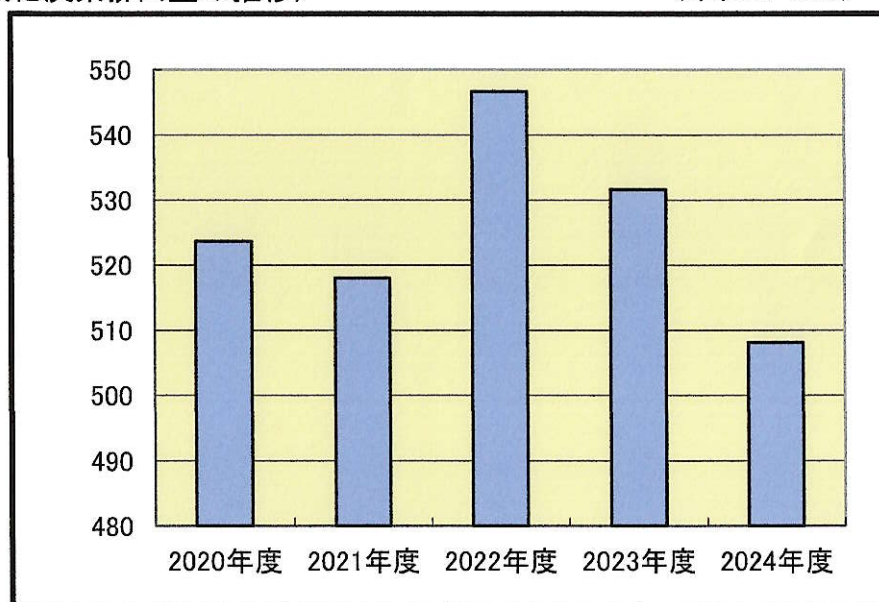
7. 環境活動計画の取組み結果とその評価、次年度の取組み内容

(1)二酸化炭素排出量の削減

電力については節電、灯油・ガソリン・軽油等の化石燃料については、エコドライブ遵守の徹底等、地道な節約活動に取組み二酸化炭素排出量の改善を図りました。

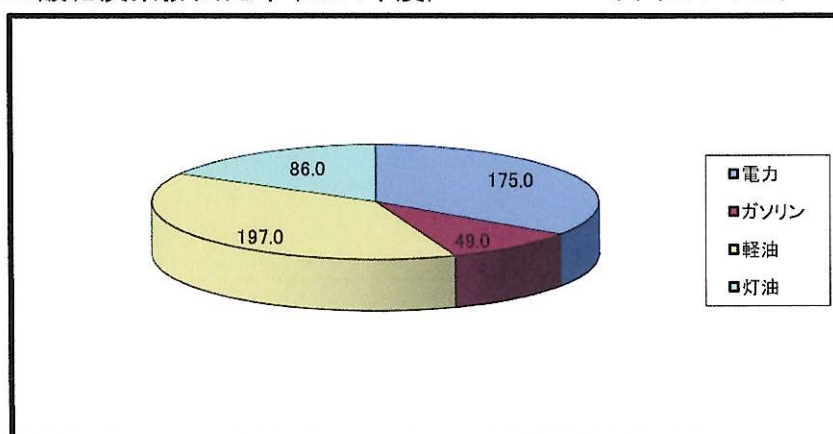
(二酸化炭素排出量の推移)

(単位:t-CO₂)



(参考)二酸化炭素排出比率(2024年度)

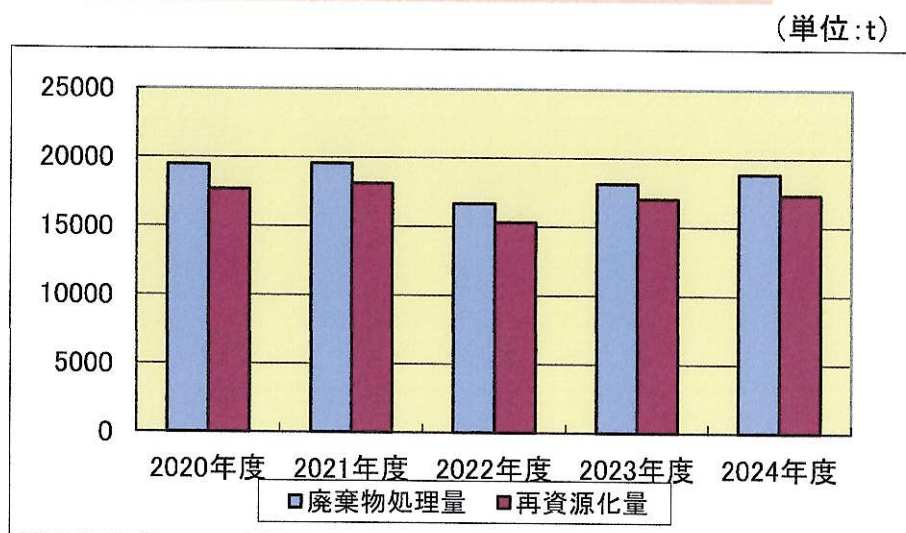
(単位:t-CO₂)



(2) 廃棄物等のリサイクルの取組み

社会から、大量に排出される使用済み自動車・建設廃棄物・その他のごみに含まれる金属など有効な資源を回収し、再資源化・再商品化する事は、資源の有効利用及び製品のライフサイクルにおける二酸化炭素排出削減、廃棄物による環境汚染防止など極めて重要です。

(廃棄物処理量・再資源化量の推移)



(3) 主要な環境取組事項に関する評価

- ① 事故・クレーム件数「ゼロ」
- ② 敷地内の油漏れ対策
- ③ グリーン購入

以上3点に絞り取組みました。

今年度も、標準作業書に基づいて、施設の整備・清掃を行い、地域の皆様にご迷惑をかけないように全従業員で取組んだ結果、事故・クレームは皆無でした。

8. 次年度の取組み内容

産業廃棄物処理業・リサイクル業界において、2024年度も厳しい経営が予測されることから、エコアクション21環境経営システムの有効活用を図り、産業廃棄物収集運搬及び産業廃棄物中間処理工程の徹底したムダの排除に努めます。

また、環境保全上の観点から無事故・無災害「0」運動にも積極的に取組み、地域に根ざした、地域から愛される事業活動を展開します。

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無

・廃棄物等に関連する許可の内容

法律等の名称	該当する要求事項(対応すべき事項)	順守評価
水質汚濁防止法	貯油施設の管理	○
フロン排出抑制法	第一種特定製品からのフロン類の回収	○
廃棄物処理法	事業者の責務 一般廃棄物(処理業・処理施設) 産業廃棄物の処理 産業廃棄物(処理業・処理施設) 技術管理者 法令に対する罰則	○
家電リサイクル法	特定電気機器の廃却	○
自動車リサイクル法	使用済み自動車引取業	○
浄化槽法	保守点検 浄化槽清掃 定期検査	○

上記について、2025年4月1日遵守状況のチェックを実施した結果、弊社に適用される環境関連法規への違反はありませんでした。

また、関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありません。

9. その他 廃棄物処理等に関する事項

(1)産業廃棄物収集運搬の種類

・山梨県

(積替え保管有り)

汚泥(廃乾電池に限る。)、廃プラスチック類、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、

ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。)及び陶磁器くず 以上7種類

※ただし、水銀使用製品産業廃棄物を含み、石綿含有産業廃棄物、水銀含有ばいじん等を含まない。

上記のものは、いずれも特別管理産業廃棄物であるものを除く。

(積替え保管なし)

汚泥、廃油、紙くず、がれき類 以上 4種類

※ただし、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物、水銀含有ばいじん等を含まない。

上記のものは、いずれも特別管理産業廃棄物であるものを除く。

・長野県

(積替え保管無し)

廃プラ、木くず、ゴムくず、金属くず、ガラ陶くず、がれき類 以上 6種類

※ただし、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物、水銀含有ばいじん等を含まない。

上記のものは、いずれも特別管理産業廃棄物であるものを除く。

(2)産業廃棄物の施設等の状況

①処理 : 中間処理(圧縮切断、圧縮梱包、圧縮、破碎)

②処理可能な産業廃棄物の種類

廃プラスチック類、木くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く)

及び陶器くず、がれき類 以上6種類

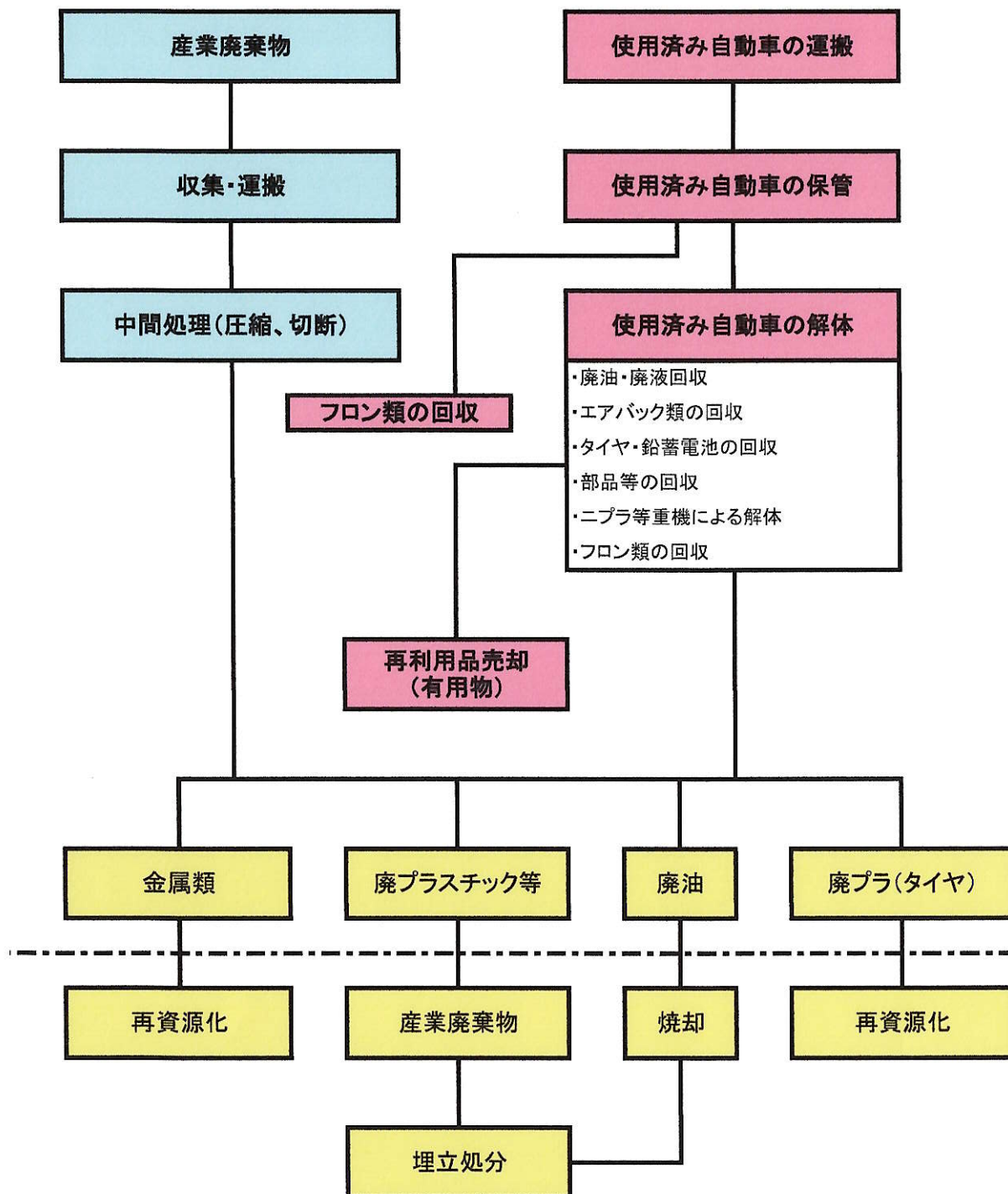
③中間処理施設

No.	種類	数	処理能力	処理方式	処理する廃棄物
1	圧縮切断施設	1	115.2t/日	油圧門型押工式	廃プラ類、木くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く)及び陶磁器くず、がれき類
2	破碎施設	1	79.2t/日		木くず
3	圧縮梱包機	1	20t/日	油圧梱包鉄線結束	廃プラ類
4	圧縮梱包機	1	156.8t/日	油圧梱包鉄線結束	廃プラ類、紙くず

④保管施設

設置場所	山梨県中巨摩郡昭和町築地新居字大神702番 以上1筆		
施設の種類	屋外保管施設(金属くず)		
保管能力	面積:114.0㎡	容量:144.0㎡	高さ:3.0m
施設の種類	屋外保管施設(がれき類)		
保管能力	面積:21.0㎡	容量:11.0㎡	高さ:1.5m
設置場所	山梨県中巨摩郡昭和町築地新居字大神739番1 以上1筆		
施設の種類	屋外保管施設(廃プラスチック類)		
保管能力	面積:12.5㎡	容量:25.0㎡	高さ:2.0m
設置場所	山梨県中巨摩郡昭和町築地新居字大神1669番10 以上1筆		
施設の種類	屋外保管施設(廃プラスチック類)		
保管能力	面積:12.0㎡	容量:25.5㎡	高さ:3.0m
施設の種類	屋外保管施設(木くず)		
保管能力	面積:8.0㎡	容量:12.0㎡	高さ:2.0m
施設の種類	屋外保管施設(金属くず)		
保管能力	面積:234.0㎡	容量:273.0㎡	高さ:3.0m
施設の種類	屋外保管施設(ガラスくず,コンクリートくず(がれき類を除く)及び陶磁器くず)		
保管能力	面積:1.9㎡	容量:3.4㎡	高さ:2.0m
施設の種類	屋外保管施設(がれき類)		
保管能力	面積:1.9㎡	容量:3.4㎡	高さ:2.0m
設置場所	山梨県中巨摩郡昭和町築地新居字大神707番 以上1筆		
施設の種類	屋外保管施設(廃プラスチック類)		
保管能力	面積:9.0㎡	容量:11.25㎡	高さ:3.0m
施設の種類	屋外保管施設(紙くず)		
保管能力	面積:64.0㎡	容量:80.0㎡	高さ:3.0m
施設の種類	屋外保管施設(金属くず)		
保管能力	面積:25.0㎡	容量:75.0㎡	高さ:3.0m
設置場所	山梨県中巨摩郡昭和町築地新居字大神741番1 以上1筆		
施設の種類	屋外保管施設(木くず)		
保管能力	面積:25.0㎡	容量:75.0㎡	高さ:3.0m

⑤処理工程図



(3) 廃棄物等の処理実績

産業廃棄物		(単位:t/年)
廃棄物等種類	収集運搬	中間処理
金属くず	4,206	14,019
廃プラスチック類	191	638
木くず	73	243
ガラ陶	13	45
石膏ボード	10	32
がれき類	4	14
安定型混合	6	21
紙くず	697	2,324
合 計	5,201	17,337

一般廃棄物		(単位:t/年)
廃棄物等種類	収集運搬	中間処理
金属くず	27	27
廃プラ	309	0
木くず	207	0
ゴムくず	7	0
ガラスくず	102	0
がれき類	23	0
紙くず	174	0
合 計	849	27

(4) 廃棄物等の処理料金

廃棄物等の処理(収集運搬、中間処理等)の料金は、顧客との契約時にお見積書を提出し、協議の上、決定させて頂いております。

廃棄物の品目、性状、排出場所、排出量等がわかればお見積もり可能ですので、当社の営業担当までお電話で問い合わせ下さい。

電話番号 **055-275-3312**

10. 代表者による全体評価と見直し

全体評価

弊社の環境活動は、資源のライフサイクルにおける延長を基本に今年度も全従業員と共に、二酸化炭素排出量削減、廃棄物リサイクル率向上等に取り組めました。

電気が総量、原単位(1tあたり)ともに、目標未達成となりました。これは環境対応に伴い、灯油から電気へ代替を行っている影響であるため、経過観察としました。

灯油・ガソリン使用量の減少などで見られるとおり、環境活動については結果をみても効果があったと考えます。

(1)環境方針について

2025年度も引き続き、現状の方針で進めます。

(2)環境活動計画について

2025年度についても2022年度を基準とし、環境活動計画を作成し管理します。

(3)その他

エコアクション21環境経営システムを導入して17年が経過しました。

弊社は、使用済み自動車の解体・破砕などを主力事業として「資源の有効活用」及び環境面の「省エネ活動」を効率的に実施し、今後も二酸化炭素排出量削減等に取り組み地球温暖化防止に微力ながら貢献していきます。

2025年4月30日

(株) 河西金属商事

代表取締役社長 河西 秀浩